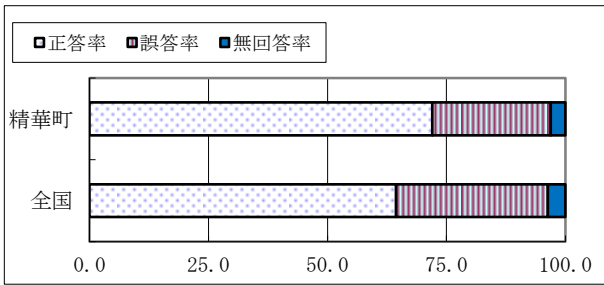


中学校数学科

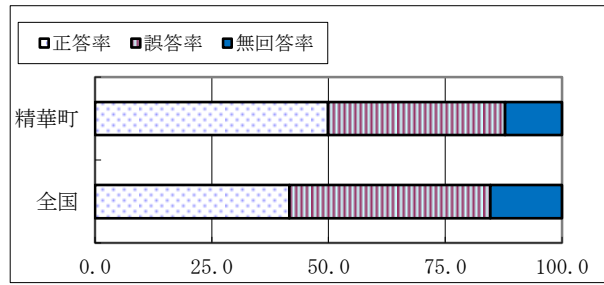
正答率の比較

A問題



- 国の状況
正答率は約64%であり、今回出題された学習内容は概ね理解できています。
- 精華町の状況
全国との関係において、8%程度高く、良好な結果であると言えます。

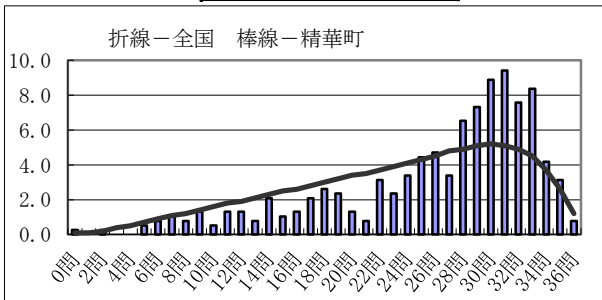
B問題



- 国の状況
正答率は約42%であり、やや課題が残ります。無回答率についても15%を超える状況です。
- 精華町の状況
正答率は全国より高い値を示していますが、無回答率の課題は残ります。

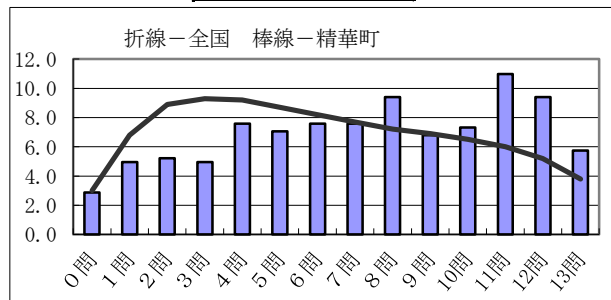
正答数の分布比

A問題



- 国の状況
正答数は30問をピークとする右寄りの山型に分布しています。
- 精華町の状況
全国との関係において、上位層の分布が多く、高い傾向にあります。

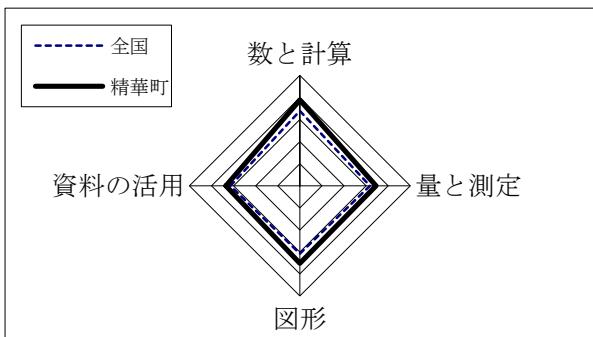
B問題



- 国の状況
2～4問程度の正答者の割合が多く、全体に左寄りの分布が見られます。
- 精華町の状況
正答数が11問以上の上位層が多く、全国とは逆の左寄りの分布傾向が見られます。

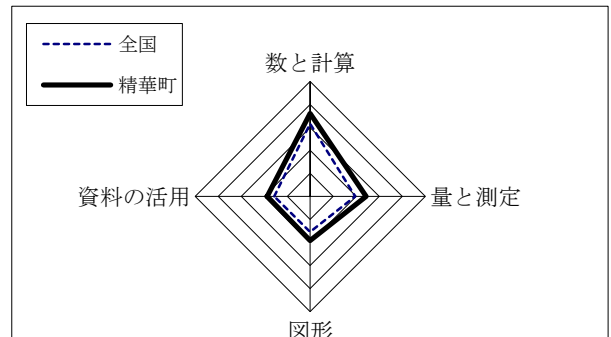
領域・視点の比較

A問題



- 国の状況
ほぼ均等に分布し、基礎基本がバランスよく習得できています。
- 精華町の状況
全国と比較して、外側に分布しており、基礎基本が極めて良好な状態で、バランスよく習得できていると言えます。

B問題



- 国の状況
「数と計算」領域においては、比較的高い値を示しています。
- 精華町の状況
全国と比較して、すべての領域で外側に分布しています。